

伊那市中学生キャリアフェス2019

報告書



【ブース出展者】

信英蓄電器箱(株)◆(株)テク・ミサワ◆日本濾過機(株)伊那工場◆KOA(株)◆キッツ伊那工場◆NCC(株)◆(株)南信化成◆伸和コントロールズ(株)長野事業所◆タカノ(株)◆大明科学工業(株)◆サン工業(株)◆(有)スワニー◆上伊那森林組合◆都築木材(株)◆(株)フォレストコーポレーション◆宮下建設(株)◆伊那市医師会◆上伊那助産師会◆伊那市歯科医師会◆上伊那生協病院◆伊那市社会福祉連絡協議会（上伊那福祉協会・高遠さくら福祉会・たかすや福祉会・しなのさわやか福祉会・アンサンブル会・伊那市社会福祉協議会）◆泉翔グループ◆JRバス関東(株)◆伊那バス(株)◆伊那ケーブルテレビジョン(株)◆信濃毎日新聞社◆伊那市役所◆長野県司法書士会◆長野県弁護士会上伊那在住会◆土地家屋調査士会・公嘱登記調査士協会◆伊那警察署◆JA 上伊那◆伊那農業青年研究会◆農事組合法人ミナミアグリ◆伊那商工会議所◆(一社)伊那市観光協会◆国立信州高遠青少年自然の家◆自衛隊長野地方協力本部伊那地域事務所◆上伊那広域消防本部◆(税)あおば会計◆アルプス中央信用金庫◆(株)綿半ホームエイド伊那店◆(株)イナリサーチ◆(株)信州ウエイト◆(一社)長野県資源循環保全協会◆(資)AOYAMA◆電脳学舎◆トヨタカローラ南信(株)◆信州フューチャーセンター(株)TUGBOAT◆伊那燃料◆伊那食品工業(株)◆菓匠 Shimizu◆ベーカリーハウスコフレ◆伊那醤油(株)◆(株)仙譲◆(株)Regatta◆ネイルサロン Yuleses◆SHUHARI◆ナチュラルダイエットクラブ◆ヒーリングスペースダーチャ◆b ぱれっと◆スカイシープロジェクト(同)◆(株)マルエー◆歌舞劇団田楽座◆南信花園◆(株)ヤマウラ◆(株)鈴平◆丸紅伊那みらいでんき(株)◆伊那市議会◆産直新聞社◆(株)関東甲信クボタ◆(有)友野◆菓子庵石川◆甘酒屋 an' s◆上伊那地域酪農協議会◆伊那ローメンズクラブ◆あつい！こまがね◆伊那谷ガレット協議会◆お茶屋いちえ◆玉虫文庫◆(株)やまとわ◆伊那市消防団◆(一社)井上井月顕彰会◆伊那市総合型地域スポーツクラブ◆上伊那賛助会◆伊那市地域おこし協力隊◆長野もりあげ隊◆伊那谷 IOT 研究会◆三風の会◆長野県社会福祉協議会◆(株)CLAMP◆スワヤツサイクル◆昭和のおやし+◆狐島若駒会◆風船遊劇団ゴンベエワールド◆カリカリブックス(仮)◆成美(ご当地タレント)北嶋隆(みはらしファーム理事長)◆宮下拓也(西駒山荘)◆岸野靖典(そばきし野)◆井上卓也(中学校教員)◆上山航矢(Unicul Laboratory)◆川崎昭仁(ギタリスト)◆笹川星哉(VC長野)◆鈴木孝之(中央不動産)

【ランチタイムステージ発表】

中原悠理・酒井奏楽・川口愛翔・佐藤翔馬・阪本颯・東部中バドミントンクラブ・長谷中2学年・城倉芽空・村松太一・BabyPeace

【協力いただいた方々】

(有)進徳教材社・根橋プランニング(同)・(有)三澤電機システム・(株)CUBE・(株)鈴平・伊那食品工業(株)・Links・狐島若駒会・荒井神社・貝沼獅子舞保存会・貝沼子ども神輿愛好会

【実行委員】

委員長：武田育夫(伊那中学校)・春日一也(伊那食品工業(株))・羽根井友子(伊那商工会議所)・春日祐樹(株)信州ウエイト)・鈴木昌幸(伊那青年会議所)・有賀にや(JA 上伊那)・山田伸一(伊那市社会福祉協議会)・井崎由華(上伊那広域連合)・伊藤智香(西箕輪保育園)・小池徹也(高遠町公民館)・鹿野耕平(伊那中学校)・宮澤修司・高橋走・漆戸隆司(東部中学校)・原文章・宮原祐史(西箕輪中学校)・小島貴弘(春富中学校)・細江拓郎(高遠中学校)・田中祐貴(長谷中学校)・清水慎一(伊那中PTA)・清澤雅明(高遠中PTA)・小牧学(生活環境課)・橋爪眞弓(商工振興課)・田畑和輝(伊那市教育委員)・福澤清・酒井美穂(学校教育課)・久保村英未子(キャリア教育コーディネーター)

【生徒実行委員】生徒リーダー：竹村花・副リーダー：松島るり・パンフレット表紙：北原由奈・オープニング司会：前田ゆら・林穂奈美・クロージング司会：唐澤愛佳・高嶋桃花・テーマ発表進行：馬場岳斗・ヒューマンコーナー司会：唐木伸・宮原丈陽・飯島沙織・川口愛翔

※ 順不同 敬称略



キャリアフェスとは



キャリアフェスの目的

「地域で子どもを育てよう」子どもは地域の宝・地域の未来という伊那市キャリア教育憲章の理念のもと、地域の中学生が「地域を知り」、「地域の人とふれあい」、「地域の未来を考える」日を作り、伊那市への愛着を深め、誇りを持ち、地域に貢献したいと思える場とし、将来伊那市を支える人材を育成するという目的で開催する。子どもだけでなく、参加、出展する大人たちも、地域、それぞれの立場で特色を出しながら自由に子どもにかかわる機会とし、大人たちにとっても、もう一度地域の良さを子どもたちと共有し、地域の発展、次世代育成にかかわることで参加者全員がそれぞれに個々のキャリア（生き方）を考える機会になることが期待される。

キャリアフェスを行うに当たり、当初から大事にしている「落としどころを定めない」「感じ方は一人ひとり違っていい」この部分を含め、目的を理解し共有していただける方々の輪が広がり、本年度は105の企業、団体にご協力いただき開催。

昨年度の反省や感想から、新たに音響設備、電気設備を整えるとともにタイムテーブルを見直し、「リサーチタイム」を設け、生徒は到着次第ブースの下見をし、ブースめぐりの時間内は細かい区切りをせず、自由に回る内容にした。リサーチタイムを設けたことで、ブース巡り開始直後から生徒は思い思いのブースへ足を向けることへつながったのではないかと。



OPENING



伝統文化あり、各校紹介あり。テーマ発表は、実行委員がシナリオを考えて演出し、各学校の特徴がでるように工夫した動画を作成し会場を盛り上げました。



MC HONA and YURA



狐島若駒会の長持



貝沼地区の獅子舞



貝沼地区のお神輿と荒井神社の天狗



「テーマの紙が盗まれた！」実行委員自ら撮影した動画と会場をつないでテーマ発表。各学校の様子を織り交ぜながらの映像は、自分の学校が映ると会場から笑い声が聞こえてきて、楽しい時間の始まりとして大成功のテーマ発表となりました。





実行委員長

今日は皆さんが主役です。ちょっとかっこいい主役でいてください。いつもよりちょっと勇気を出して。人と話すのが苦手な人は、少し勇気を出していろんな人と話してみる。友達と一緒にしないとなかなか行動できない人は、今日は一人でやってみる。

そんな勇気を出して立派な主人公を今日一日過ごしてほしい。

郷土愛プロジェクト会長

自分が素晴らしい人生を送りたいときに、学問で身に付けた、学力とともに、心、体全部、五感全部を使って感じる中で身に付く「感受性」「感性」と言う力がとても大事です。この先皆さんが、「自分はこんなことが得意だ」「こんなことが好きなんだ」ということから「こんな道に進んでみたい」という人生を選択するときには役立ちます。

ぜひ今日はこの限られた時間の中で、沢山の人生の先輩たちと交流する中で、自分の五感をフルに使って感じとることを大切に過ごしてもらいたいと思います。

今日は令和元年伊那市の全中学2年生の one team だ！いい時間を過ごそう！



生徒感想①

- 獅子舞や長持、初めて見るものもあってすごかった。
- オープニングからすごくテンションが上がりました。
- 実行委員の人たちがすごく盛り上げてくれて面白かった。
- サバイバルゲームが一番不安だったけど、他校の生徒が最初怖かったけど、やってみたらすごく楽しかった。
- リサーチタイムから行きたいところがありすぎて楽しみで仕方ない♪



BOOTH めぐり



興味を持ったブースを自由にめぐって会話したり体験したりします。



各ブース趣向を凝らして中学生の興味を引き出す工夫をしています。



生徒感想②

- 今まで働くことに良いイメージを持ってませんでした。しかしキャリアフェスで悪いイメージから良いイメージへかわりました。
- 最初キャリアフェスは「どうでもいいや」「つまないんだろうな」と思っていました。でも、どんどんブースを回るうちに、楽しくなってきた。「もう一回やりたい!」と思えるほどでした。
- 大人が真剣に話してくれるから、僕も真剣になりました。そこで大人の力ってすごいなって思いました。
- 「大人は自分の責任だけど自分の好きなことができる」と聞いて大人になるのが少し楽しみになった。
- 明るい大人がいっぱいいて、私もそんな風に明るく話せる人になりたいと思った。
- すごく楽しかったのはたくさんの大人のおかげだなと思った。
- 大人とかかわるって大事だと感じた。
- もともと夢があるけど、キャリアフェスを経験してちょっと迷いだしました。こんな仕事があるなんて知らなかった。でも、どんな仕事でも、自分が楽しく熱心にすることが大事だと感じました。
- 夢がないのは当たり前で、まだなくてもいい、自分が「これだ!」と思った時に突き進んで、ダメだったらまた違うことをやればいい。と聞いてとても印象に残った。
- 自分が住んでいる地域に、こんなに熱い思いで働く大人がいたことに驚いた。
- 「お金を稼ぐためではなく、お客さんにえがおになってもらえるのが一番うれしい」と言っていたことがすごく印象に残っているし、私も同じ思いがあるので共感できました。
- 仕事はお金を得るための手段だと思っていた。どんな仕事でもお金が得られればそれでいいと思っていた。しかし今日一日を通して、「働くってことは決してお金だけが目的じゃない」と思うことができました。
- 「こんな人になれたらいいな」と思える大人に出会えた。
- 今から自分の将来について悩まなくていいんだと思えてほっとした。
- 「失敗しても大丈夫。どんどん失敗しなさい」この言葉はすごくいい言葉だと思ったし、この先、失敗を恐れずになんにでもチャレンジしていこうと思えた。
- 自分から楽しむことができたことが一番よかった。
- 「やってみたいと思ったことは何でもやってみる」とっても素敵な言葉だと思った。
- 多くの場所で「勉強は大事だよ」と言われたので、やっぱりちゃんとやっておいたほうがいいなと思った。
- 大人も中学生の頃は夢もなりたいたいものもなかったと聞いて安心できた。
- 自分の生き方の幅が広がった気がします。
- 仕事は決して楽しいことばかりじゃない。汚かったり臭かったりもするけど、お客さんの「ありがとう」で報われると笑顔で話してくれました。その話を聞いて、その方に会って何か全力になる人の美しさ、また人に感謝することの大切さを学びました。
- やりたいことやってる大人って楽しそうだなって思った。



大人と一緒に笑顔になったり、大人の話に真剣に耳を傾けたりしていました。



広い会場を自由にまわろう！



LUNCHTIME



ランチタイムメニューは地域の伝統食「五平餅」と「かんでんスープ」。そして飲み物コーナーには高遠で焙煎したお茶「高遠ほうじ茶」と地元のお米と糀（こうじ）で作った甘酒ラテ。かんでんスープは伊那食品工業（株）が開発した可食フィルムを使用したスープです。身近なところから環境問題にも関心をもつきっかけになってもらいたいと伊那食品工業（株）様よりご提供いただきました。このほか、ご当地 B 級グルメのローメン、綿あめ、ポップコーンなどもブースにてふるまっていたいただきました。



ステージでは各学校代表による発表。中学生もこんなに考えてる、頑張ってるよ～ということを少しですが他校の生徒や大人に知ってもらえる時間となりました。

生徒感想③

- ・最初から友達を作りたいと思っていたので、他校の新しい友達ができうれしかったし、その子と回れて楽しかった。
- ・今まで出会ったことのない中学生たちと友達になれたし、お互いの考えや感じたことを共有できたことは最高の時間でした。来年の2年生にも盛り上げてほしいし、キャリアフェスずっと続けてほしいと思った。
- ・なかなか声がかけれなくて最初は「全然楽しくない」と思ったけど、小学校の時に一緒だった人が話しかけてくれて、すごくうれしかった。その後はいろんな人と友達になれて楽しい一日になった。
- ・不安もわくわくもあった1日だった。
- ・キャリアフェスを誰よりも1番楽しめた自信があるくらい楽しめた。
- ・最初は乗り気ではなかったけど、いろんなブースで体験したことは初めて味わう感覚でとても面白かった。
- ・行きたいブースもなく、友達についてまわったけど、回っていると大人たちの優しさをすごく感じて「こんな大人になりたいな」と思える人にたくさん出会えた。
- ・前もって行きたいブースが決められず「当日どうしよう」「嫌だな」って思っていたけど、たくさんの大人に声かけてもらって、思ったよりいろいろなブースを回れて、すごく楽しくて最高の1日になった。
- ・知らない人は怖いし、話すのが苦手だけど、今日はいろいろな人と話すことができ楽しかった。少しの勇気を出すだけで、いつもはできないことに挑戦できたり、人と話せる自分がいるということに気づくことができました。
- ・知っていても話すきっかけのなかった同じ部活の他校のキャプテンと話すことができ、どうしたら強くなれるかを聞くことができた。他校とかかわれたことがすごくうれしかった。
- ・自分から積極的に動く方が、楽しいし、新しい出会いもあるんだと実感できた。
- ・もっとほかのブースも見べきだったと後悔！
- ・一番びっくりしたのは、ポップコーンや綿あめを食べながらブースを回っていいということです。ものすごくたのしかったです！
- ・どこに行こうかなんて悩む間がないくらい楽しめた。
- ・大人はあまり好きではなかった。でも今まで知っている大人だけじゃないと知り、こんなにもいろいろな大人が伊那市にはいることに気づけた。
- ・初めてヘアアレンジしてもらったらめっちゃくちゃテンションが上がって「人って少し変わるだけでこんなに気分も変わるんだ！」って気づいた。私も「知らない」を「知る」に変えられる人になりたいと思った。
- ・知らない人と話すことを勝手に難しいと思っていたけど、やってみたらむしろその方が話しやすかった。
- ・この人たちにいつか恩返ししたい！
- ・責任が多いほど達成感が大きいという話を聞いて、僕は今まで責任の大きなものは避けてきましたが、今度はやってみようと思いました。
- ・最初はキャリアフェスにもいい印象を持っていなかったし、伊那市のことも好きではありません。伊那に住んでほしいといわれても「はっ」って感じでした。でもキャリアフェスって多くの人に支えられてて、すごく楽しめた。印象が変わった。
- ・ブース巡りで最初に感じたことは「一人一人が主役になっている。ぽつんとしてる人がいない」ということです。教える人、教えられる人、両方が楽しそうだった。
- ・自分の仕事を熱く語れる大人に私もなりたかった。
- ・本当にびっくりすることばかりで、ずっと充実していました。



地元の食にも舌鼓

とにかく楽しい！

先生も笑顔



CLOSING



1日でどんなブースに行き、どんな大人と出会ってどんな話をしてきたのか、クローリングでも他校の生徒や大人とグループを作って感想の共有。共有することで自分が行かなかったブースの様子などを聞き、また、口に出すことでさらに自分のものにする。大人も子どもたちがどんなところに興味を持ったのかを知り、地域の子もたちと言葉を交わすシェアリングを行いました。



市長からの中学生へのメッセージ、そして生徒リーダー花の言葉で閉祭です。

生徒感想④

- ○○さんの話を聞いて「自分なんて」って言ってた友人も勇気をもらえたんじゃないかと思った。お礼を言いたかったけど言えなかったのが心残りです。
- 今まで見えていなかったことが見えた時間でした。
- 思わず「すげ〜」「おもしろっ！」って言ってしまったが、その時大人の人がすごく嬉しそうだったので、言ってよかったと思いました。だからすごいと思ったらちゃんと言うことって大事だと思った。伝えたらみんな笑ってくれた。
- 伊那市をよりよくするために若い人の意見を聞きたいと言ってくれた。子ども扱いじゃなく、一人の市民として扱ってくれたことがすごくうれしかった。
- 伊那で働きたいと思っています。今日行ったブースはどこも素敵で、働きたいなと思った。今日一日で伊那がもっと好きになりました。
- 「一歩踏み出すのは勇気がいるけど、踏み出してみればいいことがたくさんあるし、私は地元が大好きだ」と聞いて、将来の選択肢が広がったような気がした。私もいつか、話をする側になるのもいいなと思った。
- 「努力すればセンスのある人にも勝てる」という言葉が心に残った。私は努力ができません。でもその言葉を聞いて、もう少し頑張ってみようと思いました。
- 私が「嫌だな」と思う仕事をしている人の話を聞いた。その人は自分の仕事に誇りを持っていた。その人の言葉はすごく心に残った。
- 今まで大人と触れ合うことをしてこなかったんだなと感じた。好きなことを仕事にしている人、人の役に立ちたくて働いてる人、自分は将来どんな仕事をしたいか考えてみようと思った。
- 今まで学校にもいろいろな人が来て話をしてくれたけど、正直「こういう人は珍しい人なんだ」と思っていたけど、今日たくさんの大人に会って、みんな志を持っていてその思いを熱く語ってくれて、すごく引き込まれて夢中できけました。
- 「この人は人を大切にしているんだ」というのが話を聞いてよくわかった。
- 私たちが体験したり、話を聞かせてもらったのに、ブースの大人が「ありがとね」と言ってくれたことが印象に残っている。
- キャリアフェスはもっとまじめで堅苦しくて面白くないものだと思っていたけど、想像していたよりすごく面白くて授業とは違った学習でとてもよかったです。
- 「やればできる」とエールを贈ってもらえてすごく嬉しかった。感謝でいっぱいです。
- 私は今まで自分の為と自分のことしか考えていなかったとことに気が付いた。他の見方や考え方を知ることができた。
- キャリアフェスを通して地元の大人たちの団結力をすごく感じた。
- 大人の話聞いて、お店の商品には作っている人の「喜んでもらいたい」という気持ちがこもっていることを知ることができた。
- 自分の夢である職業の人の話を聞くことができ、さらに興味が持てたし、すごく自分のためになった。
- まったく興味のなかった職業の話だったのに、「すごいな、私もやってみたいな」って思う気持ち初めて沸いた。
- 「学校の勉強は苦手だけど、自分の好きな仕事のことはいくらでも勉強できる」と聞いて、私も自分の興味を大切にしていこうと思った。
- 働かって、仕事って表面で見えてるものよりも、すごく奥が深いんだな。

- 「ほかのブースも楽しんでおいで」と言われてびっくりした。自分のところだけじゃなく伊那を知ってほしいと思ってみんな取り組んでいるんだと感じた。
- 「目を見て話すこと」で伝えたい気持ちってこんなにも伝わるんだと気づくことができました。
- 伊那谷の自然について深く考えることができた。
- 自分の将来について明確にしたいと思って参加しました。だからいろいろなジャンルのブースに行きました。話を聞くと「なんで?」「どうして?」と疑問がたくさん湧くブースがあり、すごく興味を持てる仕事を見つけることができました。
- キャリアフェスって将来を考えるきっかけにもなって、高校の選択にもつながるなって思いました。
- 私はコミュニケーション能力が低いので、会場にいた大人たちのように、誰とでも気軽に話せるステキな大人になれるよう一歩踏み出したいなと思いました。
- 「今が一番楽しい」という言葉を聞いてすごいなと思った。すぐに行動を起こしたことで、失敗も不安もその時の考えすべてを含めて「今が一番楽しい」と聞いて、私は行動に移すのが苦手でなかなかできないけど、将来「今が一番楽しい」って言えるようになっていたい。
- 今自分が悩んでることが解決するような話を聞いた。
- 今まで「〇〇の仕事に就きたい」とは思っていたけど「△△のために働きたい」とは考えたことがなかった。今日話を聞いて、私も「誰かに喜んでもらうために働きたい」と初めて感じました。
- 今の自分たちは、いろいろなことを経験して、勉強して、挑戦して、可能性を探して、将来の夢や仕事を見つけていくんだと思った。
- 自分になりたいなという仕事元々あったけど、こんなにも知らない仕事沢山あることを知って、もっと選択肢っていっぱいあるんだと知ることができた。
- 普段親に言われると「うるさいな」と思っていたことと同じことを、ブースで聞いた。やっぱり親の言っていたことは大事なんだ。と思った。
- 仕事ってどこか嫌だったり、ネガティブなことだと思っていたけど「自分の好きな仕事に就く」好きなことをしてお金をもらえるっていう発想を聞いてびっくりした。
- 地域の大人と市内の中学生が一つになって何かするってすごいなと思った。
- 「中学で学んだことは、絶対大人になって必要だ」と聞いて今の勉強頑張ろうと思った。
- 障害があるかないかが問題じゃなく、ハンディがあってもできることはたくさんあるんだと気づけた。
- 制度とか法律とか、初めて聞くものが多かった、全然知らないことばかりで、実は僕たちに関係する制度が沢山あることに気づくことができた。
- 自分が知っていたことなんて、ほんの一部なんだと思った。
- 失敗しても次につなげればいいんだと思えました。
- 親に対しての思いを聞いてすごいなと思った。
- 両親にも感謝したいと思った。
- 体験させてもらってる時、誉めてもらえてすごくうれしかった。
- 普段親に言われてることと逆の考え、行動で仕事をしている人の話を聞いた。だからその人に「本当に今の仕事でいいんですか?」と聞いてみたら「やりがいがあるし、この仕事に就いてよかったと思ってる」と答えてくれた。親の言うこともわかるけど、結局は自分次第なんだと思った。
- 自分が知ってると思ったことは、知ってるつもりでいっただけで、話を聞いたら知らないことばかりだった。
- 話が合う人が見つかった。1/650を見つけれられたのはすごいことだと思った。



出展者感想

- 生徒の皆さんが主役だということがよくわかる素敵なイベントでした。
- 自由に動き回れるスケジュールがよかったと思う。
- 中学生たちが考え、それをサポートする！生徒たちが作り上げているというのを実感することができました。素晴らしいエネルギーでした。それを大人たちがサポートするという姿がよかった。
- 全般に熱心に話を聞いてくれていた印象がある。
- フェス＝「祭典」であれば、子どもたちは「お祭り気分」で輝いていたと思う。それぞれの思いで行動していたと思う。
- まだ、自身のキャリアについて考えている生徒は少ないように感じたが、ブースでの会話を通じて、働くことについて考えるととても良い機会になったと思う。
- 控え目な生徒が多かったように感じたが、伊那の良いところを聞いたら即答する生徒が多く、皆自分の町が好きなんだと実感しました。
- まだ、働くということはわかりにくいようでしたが、話すことでこちらも今の中学生についていろいろ聞くことができ、中には、将来を見ている子もいて、双方にとってもいいフェスだと思う。
- 午後からの時間がダれてしまいがちになるのを、ランチタイムにステージイベントなど開催し、子どもたちを必然的に巻き込んでいるのが良かった。
- 他校の生徒、大人、様々な人と交流できることがすばらしく、活気もあり、いいイベントだと思う。
- 出展した側も、ほかのブースを見学でき、交流することができ、自分自身が勉強になった一日だった。
- 自由に回ることの良さも大いに感じられるが、その分とどまる時間が短く、もっと生徒と向き合って話したいこともあり、時間の区切りをどのようにするか、悩ましいところでもあるが、検討していくことが必要だと思う。

- 積極的に話をする生徒は少なかったが、thankscard を使うことによって、会話ができた。
- ブースの混雑度に差が出るのは必然だと思うが、中学生のうちに知らない世界を知ることは大切だと思うので、認知度の低い業種、ブースに誘導させる仕掛けを導入したらどうか。(スタンプラリーとか)
- クロージングのシェアリングの時間が短かったと思う。(ゲームに時間がとられてしまう)
- 全体的に子どもたちがおとなしいように感じました。もっと質問や自分の考えなど言えると話が続くかな。
- 出展者の休みがなく立ちっぱなしになるのはちょっと大変。午前と午後で内容を変えていくことも案としてどうだろうか。
- 物欲しさで並んでいるだけのように見えるブースもあります。行列ができるブースへの工夫は必要だと思う。(整理券とか)
- 初参加でしたが、オープニングから予想以上で感動しました。伊那市のアピールとしてももっと広く広報したらいいと思います。
- ブースで体験したときの驚きや、発見したときの声や反応がすぐあって、こちらもやりやすかったです。
- もっと、大人も他ブースを回れるといいと思いました。
- 私たちの職業に興味関心があって来てくれた生徒が多く、熱心に話を聞いてくれて、感想もしっかり書いてくれてとてもありがたかった。
- 自分の興味あるブースに一人で行動できる生徒が昨年より増えたように感じた。
- ブース巡り開始から生徒が行きたいところに分散できていた分、昨年度よりヒューマンコーナーに行く生徒が少なかったように見えた。
- ランチタイムの生徒の発表がよかった。それ以外の時間でも積極的に自分のことを発表できる場になって、今の中学生を大人に伝えることもいいのではないかと思った。
- 先生がヒューマンコーナーに出ていたのもよかったと思う。
- いろいろな経験は無駄ではなく、人を育てることなんだと気づかされました。
- 最初は物につられて来た生徒も多かったが、話をしている最中はしっかり話を聞いてくれていて、自分の考えも持っている子が多かった。
- 最初は興味がない様子でも、体験をすることで驚いたり、楽しそうだったりする様子が見えた。
- 地域全体で盛り上げて継続していく必要がある中で、保護者をはじめ、認知度をどう上げていくかが必要だと思います。
- 前もって保護者から「仕事とは？」などの言葉を募っておくのもいいのではないか。
- 継続的に行うことがキャリア教育につながると思います。この1回だけにならないように、その後も続く何かが必要だと思います。
- 主催者・出展者・生徒間の目的意識のずれがあると感じます。「楽しさ」が前面に出ていたように感じましたがそれでいいのでしょうか。
- 生徒がお客様のような気持ちで参加しているのは気になった。自分たちからもっと回るような意識は必要だと思う。
- 話していても興味をもつポイントはそれぞれで、中学生と一概に言えないことに気づきおもしろかったです。
- 最初はなかなか話ができなくても、何も考えていないようでも、話してみると悩みや考えはみんな持っていることがわかる。中学生に最初から積極的に話をするのはまだ難しいのかなと気づくことができた。
- 興味をまず持ってもらう上での「アメ」をうまく利用し、話を聞いてもらうことにつなげられたらいいと思うが、物をもらうだけになる生徒も実際には多いことは今後検討していくべきだと思う。

保護者感想

- ・親として、大学を卒業したら地元で就職してもらいたいというのが本心です。地元にも自分が働きたいと思う企業があるかも・・・と思える機会を与えてもらえる時間だったと思います。
- ・「楽しかった」「すごかった」と帰宅後いつも以上に話す様子を見て、このイベントが子どもにとってすごく刺激的で、いい時間だったことがうかがえました。聞いているこちらにも楽しくなりました。
- ・職場体験学習でお世話になった企業の方に再会できたこと、そして興味のなかったブースにも行ったことで「おもしろそう」と思えたことなどいい時間を過ごせた様子でした。
- ・自分の目で見、感じて、大人や友達との交流は、将来に向けて大変必要な時間だと思えます。
- ・物づくりのコーナーがとても楽しかったようです。様々な職業を知る機会として、中学2年生の時期にやってもらえたこと、とてもありがたいです。
- ・他校の生徒と一緒に集まれる機会が素晴らしいと思えます。
- ・職場体験学習では1社を集中的に体験し、キャリアフェスでは広い視野で企業を感じる。その両方ができることはとてもいい勉強になっていると思えます。
- ・食べ歩き、ヘアアレンジやネイルなど本人はとても楽しかった様子だが、もう少ししっかり話も聞いてきてほしかった。
- ・親も参加したい。
- ・気になるブースに一人で行ったそうです。実際の話はとても興味深く、自分の将来を考えるきっかけになったようです。
- ・地域をかかわる・知ることができる機会は大事だと思えます。地域の様々な職種の皆さんが協力し、貴重な一日を体験させてもらえることで、地元の知らなかった魅力に触れることができたと思えます。
- ・食べ物だけに回った様子の我が子にとっては、正直何かを得た時間になったかは疑問です。
- ・今はまだ具体的な夢も希望もないようですが、数年後自分の将来を真剣に考えるときに、今日見たり聞いたりを思い出してくれるといいなと思えます。
- ・第一に「うらやましいな」と思いました。私自身が中学生の時には、地域にある企業や仕事を知る機会がなく、「何もないところだ」と思っていたので、知るきっかけがあることは大事だと思えます。
- ・子供は、働く＝つらいこと、ではなく、生き生きとやりがいを持てること、好きを仕事にできることを知り、将来好きを仕事にできるように勉強を頑張りたいと話してくれました。
- ・1日では回り切れないようですので、もう何回か開催してほしい。
- ・聞いてきた話をとても楽しそうに、詳しく話してくれました。親では伝えられない話をしてもらえる時間はとてもいいと思いました。
- ・行く前は「絶対楽しくないと思う」と言っていましたが、「楽しかった」と帰ってきました。
- ・何日も前から楽しみにしていて、帰宅後も見てきた、聞いてきた話をたくさんしてくれました。とても素晴らしいイベントだと思います。ぜひ継続してください。
- ・お金の話は敏感で興味深く、記憶に残っている様子です。
- ・前もって親がパンフレットを見る時間がなかったことが残念です。親の立場から薦めたいブースもあった。
- ・話を聞いてきて、実際に家でガレットを作ってくれました。
- ・授業をつぶしてお祭りをする意味があるのでしょうか？何を学ぶ場なのかわかりません。
- ・話を聞いて、自分の会社もぜひ参加したいと思いました。
- ・将来のことを子どもと話すきっかけにもなりました。

参加教員感想

- ・地域のあれだけたくさんの企業や団体の協力のもと、中学生のためにキャリアフェスが行われることは本当に素晴らしいこと。仕事に対する熱意や仕事の内容、思いなど語ってくださるお話はとても興味深く、私たち教員にとってもとても勉強になるものでした。
- ・学校では大勢の中になかなか入れない生徒も、パンフレットを手にした時から、興味あるブースを調べたりとても楽しみにしていました。自由に回れるところも入りやすく、楽しみながら学ぶことができました。
- ・普段出会わない人・モノに触れることで、生徒たちが生き生きとしていた。
- ・出展者の方々の熱い思いに対して、学校側が事前にもっとできることがあると思う。事前学習などで生徒の意識をもっと高めておくことで、生徒がもっと主体的にブースを回ることができると思う。
- ・この活動が10年続いたら、体験した中学生が大人になった時に何か変革のもとになるように感じます。
- ・学校の立場からキャリアフェスに望むものと、伊那市としてキャリアフェスに託している思いにまだギャップがあるようにも感じます。検討していくことが必要だと思います。
- ・食べ物や商品の提供に大勢の生徒が集まってしまい、並んでいるだけ、ものをもらうだけになってしまうのは非常にもったいないことだと思う。



生徒実行委員



キャリアフェスの実行委員には各学校より2名、計12名の生徒が参画し主に計画運営を行っている。自らが主体的にかかわり、ゼロから作り上げていく経験を通して、次世代リーダー育成の一環も担っている。

本年度は顔合わせを1年生の春休み中に行い、夏休みには国立信州高遠青少年自然の家で合宿を行った。

12名がキャリアフェスの趣旨を理解し、その中で実行委員としてどういう意識で何をしていくのかということに自分事として取り組めるようになるまでに、一番時間を費やした。

最初はこの場に来れば楽しいことを経験させてもらえる。最終的には大人が何とかしてくれる。言われたことをすればいいという意識が強かった。

そのため、キャリア教育とはという話から、キャリアフェスの目的、目標などを話しても、それを自分たちが作り上げていく、自分たちが動かなければいけないという意識に変わるには多少時間を必要とした。

「やり方がわからない」「言われたことをやれば失敗じゃない」という思いや、楽しいと思えない時期など、モチベーションのupdownを各々経験しながら、意識が変わり、最終的には12名が主体的にかかわることに変化できた。そして今年度のカラーをしっかりと出し、キャリアフェスが終わった時に味わった高揚感、達成感は、この先の人生にとって大きな経験になったと確信できる。



大人は極力入らずに、生徒主体でアイデアを出し合って、考えて作り上げていきました。

生徒実行委員感想

- ・ 実行委員は普段の学校生活とは違い、会議の進むスピードが速くてとても緊張感がありました。計画では、目的と目標を明確にして、来る人がどう感じてほしいかまで考えました。考えている途中、ここまで考えなくてもいいのではないかなと思うことが何度もありました。しかし、本番を終えてもう一度考えると、あの時しっかり考えておいたから、ここまでこれたのだと思いました。計画の段階でしっかり目的と目標を決めることの大切さを実行委員を経験して一番感じました。
- ・ 今まで何かに立候補したりするのは苦手でやってきませんでした。でも、誘われたのもあるけど、自分を成長させるチャンスだと思って立候補することにしました。最初は学年集会などの時の司会と同じかなと考えていたのですが、キャリアフェス実行委員会は全然違いました。なかなか案もうかばなかったり計画も進まず苦労したり、嫌だなと思うこともありました。でも、最終的には私たちにしかできないキャリアフェスをつくることができました。前日までは不安でいっぱいでしたが、終わってみれば本当にたくさんのいい経験ができ、自分のやることに自信が持てるようになりました。
- ・ 最初は自分が特に真剣にかかわらなくても「キャリアフェスは成功するでしょ」とどこか他人事としておもっていました。大人の方々にそうじゃないこと、自分事として考えなきゃいけないことを言われていても、そういう意識が持てませんでした。でも、本番1か月くらい前になって「本当にピンチ、間に合わないかもしれない」ということに気づき、ようやく意識が持てました。それからの1か月間はとても早かったです。考えること、やることだらけで、毎日キャリアフェスのことを考えていました。その1か月の中で、私は仕事の大変さと責任に気づき、学びました。任されたことに責任をもって最後までやることは大変だけど大切なことだと気づきました。そして迎えた本番当日、最後に会場にみんなと一つになれて「最高！」という気

持ちになりました。こんなに達成感があり楽しいと思えたのは、実行委員を経験したからだと思います。大人の方々が私たちのことをあきらめずかかわってくださって、注意をたくさんしてくれたことが、私自身の成長につながったんだと思います。

- 実行委員としてかかわったことで、一つの行事を立ち上げる大変さがわかりました。時間、手間、労力、努力が必要で、一つ一つに裏方がいて、どれだけ緊張しているのかもわかりました。今までいろいろな役をやってきたけど、自分の成長、自信、たくさんのもので得られた実感が一番ありました。
- 最初実行委員になった時は、正直「めんどくさそう」「嫌だな」という気持ちしかなく、ネガティブにしかとらえていませんでした。でも当日は「楽しみだ！」という気持ちしかなく、感情が今までしてきた準備、努力、練習量を物語っていました。緊張なんかせず本当に楽しむことができました。終わったあとの達成感とともに軽い悲壮感にもとられました。それだけ素晴らしい時間を過ごせたんだと思っています。
- 先輩が「楽しかった」と言っていたので実行委員になったけど、実際にはやるのがたくさんあって、すごく大変で、何回もダメ出しもあって、きつかったり、わけわかんなくなることもあったけど、メンバーと一緒に作り上げることができて、この経験はすごく自分の力になりました。
- 自分から楽しんでやれば、周りにも伝わっていくと実感できました。
- 大変なことも多くて、途中「やめてしまいたい」と何度も思ったけど、みんなで真剣に考えて話し合うのが楽しくて、実行委員一人一人を尊敬していました。自分の弱さも改めて感じて、強い人になりたいと思ったのに実現できなかったのが心残りです。でも少しは変わったと思います。それは支えてくれた大人の人たちのおかげだと思います。
- 当日はすごく緊張していて、さらに予定になかったこともやることになったのでパニックになり心臓バクバクだったけど、自分の担当のところの前には逆にワクワクしてきて、全力を出し切ることができました。
- 想像力を働かせること、実行委員会を通してこのことをすごく学びました。
- キャリアフェスが終わってからの達成感、これが半年間活動してきた結果だと思います。先輩に「楽しいよ」と聞き、立候補して選んでもらったことに大きな期待を持っていました。でも、実際キャリアフェスがどんなものかわかりませんでした。

理解しても進めていく中で自分たちのキャリアフェスができるか大きな不安でもあったし、話し合いがうまく進まなかったりするなかで、自分自身が楽しいと思う感情がなくなってしまったこともありました。そのことで自分の甘さを知ることになりました。楽しくないのは自分が楽しもうとしていないから、進みがよくないときはリーダーとして雰囲気を変えることもできたはず。やっぱりどこか他人事として考えていたんだと思います。大人から指摘があって自分の甘さに気づいて、自分の意識を変えることができました。もっと早く気づいていればもっとリーダーとしてできたことがあったと思うとみんなに申し訳なかったとも思いません。

それでも、当日はやってきたことが出し切れて、成功したといえると思います。実行委員として活動してきたよかったと思えました。11人の仲間と、教えて支えて怒ってくれた大人の実行委員のみなさん、家族、そして当日盛り上げてくれた2年生、ブースを出してくれた方々、かかわったすべての方に感謝を絶対忘れたくないです。実行委員、リーダーという経験を通して、確実に言えることは、何か変化できる。今までと違う何かができる。ということです。私は自分で自分の甘さに気づくことができ、それを直せるように考えることができました。きっとこのキャリアフェスの経験が参加した多くの人にとっても、変化のきっかけになると信じています。

2回目を迎えた伊那市中学生キャリアフェスを、成功裏に終わらせることができました。ご協力いただいた様々な方々に感謝するとともに、このフェスの目的である、将来ふるさと伊那市を支え、継承していってくれる中学生を育てるために、このフェスをさらに進化発展させていきたいと考えております。

本年度の大きなテーマは「緩和」でした。「自由」と言ってもいいかもしれないし、「自主」と言ってもいいかもしれませんが、学校教育にも問題があるかもしれませんが、昨今の中学生は様々な規制の中で、主体的に判断し、行動する力を育てる機会が失われていると思われまます。素直で従順な生徒は多いが、何かを変えていくエネルギーを持った生徒が少ないのです。これは、子ども側にも問題があるのではなく、子どもの本来持っている力を信頼し、任せ、待つことができない大人側の問題であります。

今回のキャリアフェスでは、中学2年生が、自分で判断し、行動し、表現をするために、ほとんどルールを決めませんでした。このことについて、賛否両論があることは承知をしていますが、私たちの愛するふるさと伊那市を将来担っていってくれる人は、どのような人材かを考えたとき、このことは重要なことであると考えています。

今後も様々な挑戦する実行委員会であり続けたいと考えております。引き続きお支え、ご協力を賜りますようお願いいたします。

伊那市中学生キャリアフェス実行委員長 武田育夫(伊那中学校長)



伊那市中学生キャリアフェス2019も、地域の多くの方々に支えられて盛大に終わることができました。皆さんには感謝しかありません。このキャリアフェスをはじめ、伊那市で行っているキャリア教育は、県内外からの問い合わせが増え、今回も上伊那以外の地域から多くの見学希望がありました。みなさんまず「これができるんですか?」という質問をされ、学校主導、指導の下ではなく、産学官共同で行えることに驚かれます。

キャリアフェスは「祭り」とにかく楽しいこと。「自由」。楽しい記憶が中学2年生にとってとても大切だということを大事にしているキャリアフェスに対して、様々な感想をいただきます。大人は、せっかく時間を使うなら、授業として参加するなら、楽しいだけではダメなように考えがちですが、実際にあの場所を楽しんだ子どもたちの感想は、大人の思う楽しいだけとは違ってきます。

落としどころを定めず自由に感じるキャリアフェスを継続し、進化させ、地域で育つ子どもたちが、様々な大人と出会い、生き方を知り、考え、自分の未来につなげて生かしていけるような経験がたくさんできるよう、今後も検討改善し、伊那市で誕生した「キャリアフェス」を実施していきたいと思えます。

伊那市キャリア教育コーディネーター 久保村 英末子

新聞をはじめ、テレビ、有線放送などに取り上げていただきました。

仕事への思い参考に 伊那で中学生キャリアフェス

伊那市内6中学校の2年生 約650人が11月14日、伊那市で「中学生キャリアフェス」が開催された。伊那市が地域を活性化させるため、地元企業や文化施設などから出展し、生徒が職業体験や企業見学、ワークショップなどを通じて、仕事への思いや地元文化について学ぶ機会を設けた。伊那市キャリア教育推進委員会が主催する。伊那市キャリア教育推進委員会の主催で、伊那市内6中学校の2年生約650人が11月14日、伊那市で「中学生キャリアフェス」が開催された。伊那市が地域を活性化させるため、地元企業や文化施設などから出展し、生徒が職業体験や企業見学、ワークショップなどを通じて、仕事への思いや地元文化について学ぶ機会を設けた。伊那市キャリア教育推進委員会が主催する。



地域住民から仕事への思いを聞き、菓子作りを体験する生徒

学んだことをどう生かすか



伊那市中学生キャリアフェスのテーマを発表する実行委員ら

伊那市中学生キャリアフェス テーマ決まる

伊那市中学生キャリアフェスの実行委員らが、11月14日、伊那市で「中学生キャリアフェス」のテーマを発表した。伊那市キャリア教育推進委員会が主催する。伊那市キャリア教育推進委員会の主催で、伊那市内6中学校の2年生約650人が11月14日、伊那市で「中学生キャリアフェス」が開催された。伊那市が地域を活性化させるため、地元企業や文化施設などから出展し、生徒が職業体験や企業見学、ワークショップなどを通じて、仕事への思いや地元文化について学ぶ機会を設けた。伊那市キャリア教育推進委員会が主催する。



伊那市内の介護福祉施設職員から電動車椅子の操作方法を学ぶ中学生(左)

伊那の中学生 働く魅力学ぶ 「キャリアフェス」6校の650人参加

伊那市にある全6中学校の2年生全員約650人が、市内などの企業や団体で働く人たちから産業や文化について学ぶ「キャリアフェス」が14日、市民体育館であった。各校の教師ら約30人でつくる実行委員会が昨年に続き企画。生徒は100余りのブースを回り、今後の職業選択の参考にした。

各ブースの担当者は口頭での説明のほか、手掛けている部品作りを体験してもらったり、料理を食べてもらったりして仕事の魅力を伝えた。

同市通り町の空き店舗で古本店を営む信州大農学部(南箕輪村)3年の中野穂希さん(20)は災害ドキュメントや小説など約20冊を展示。活字とネット媒体で得られる情報の違いを伝えた。「人の役に立つ仕事」に関心があるという東部市上伊那の若手職人らも出展した。伊那市在住の若手職人らも出展した。伊那市在住の若手職人らも出展した。伊那市在住の若手職人らも出展した。

キャリアフェス 目的や接し方は

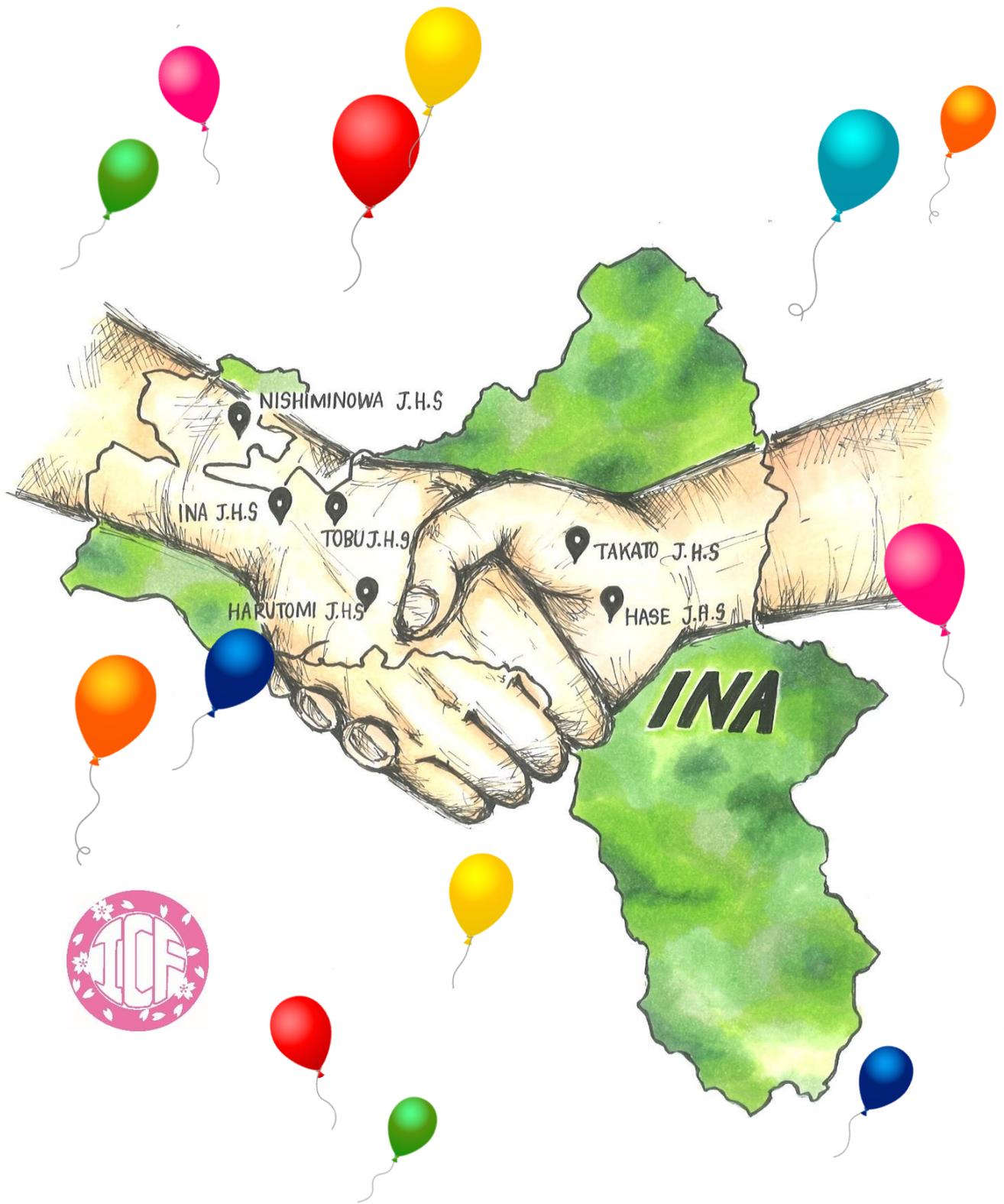
伊那市中学生キャリアフェス実行委員会

伊那市中学生キャリアフェスの目的や目的や接し方は、伊那市キャリア教育推進委員会が主催する。伊那市キャリア教育推進委員会の主催で、伊那市内6中学校の2年生約650人が11月14日、伊那市で「中学生キャリアフェス」が開催された。伊那市が地域を活性化させるため、地元企業や文化施設などから出展し、生徒が職業体験や企業見学、ワークショップなどを通じて、仕事への思いや地元文化について学ぶ機会を設けた。伊那市キャリア教育推進委員会が主催する。

11月に中学生キャリアフェス

伊那市中学生キャリアフェス

伊那市中学生キャリアフェスの目的や目的や接し方は、伊那市キャリア教育推進委員会が主催する。伊那市キャリア教育推進委員会の主催で、伊那市内6中学校の2年生約650人が11月14日、伊那市で「中学生キャリアフェス」が開催された。伊那市が地域を活性化させるため、地元企業や文化施設などから出展し、生徒が職業体験や企業見学、ワークショップなどを通じて、仕事への思いや地元文化について学ぶ機会を設けた。伊那市キャリア教育推進委員会が主催する。



伊那市中学生キャリアフェス実行委員会事務局：伊那市教育委員会学校教育課
電話：0265-72-3351 FAX：0265-72-4142

令和元年度 長野県「地域発元気づくり支援金」採択事業